

歴代「たかなみ」 (Successive TAKANAMI)

艦名「たかなみ」の由来

旧海軍以来、艦名には、気象、海象、山岳、河川等の名称が採用されており、海上自衛隊のヘリコプター搭載汎用護衛艦には「雪」、「雨」が採用されてきましたが、本艦は「あめ型」の改良型として、「波」が採用され、「力強い高い波」から「たかなみ」と命名されました。

本艦は、旧海軍から数えて3代目、海上自衛隊としては2代目で、艦番号110は先代と同じです。

また、本艦は、初代「高波」と同じ、浦賀造船所(住友重工業K・K)の最後のぎ装艦として建造されました。



初代(1st named)

駆逐艦「夕雲」型の7番艦として昭和17年8月に浦賀船渠にて竣工、同年10月に第31駆逐隊に編入し、南太平洋海戦に参加、同年11月にルンガ沖において沈没

長さ(Length): 119m

排水量(Displacement): 2077TON

速力(Speed): 35ノット

軸馬力(Shaft power): 52000馬力

主機(Main Engine): 蒸気タービン



二代目(2nd named)

国産護衛艦「あやなみ」型の5番艦として昭和35年1月に三井玉野造船所にて就役、同年8月に第11護衛隊に編入し、海上自衛隊の主力部隊で活躍、平成元年に除籍

全長(Length): 109m

排水量(Displacement): 1700TON

速力(Speed): 32ノット

軸馬力(Shaft power): 35000馬力

主機(Main Engine): 蒸気タービン×2